課外活動の制限緩和について（更新1）

課外活動及び学内施設の利用について、10月16日(金)より、以下のとおり制限を緩和します。

使用施設は、今後も段階的に規制を緩和する見込みですが、社会状況により利用停止等をお願いする可能性もあります。ご理解ください。

1. 再開条件

以下の条件で、再開を認めます。

- 学内活動
 - ・ 荒川キャンパスの学生登録団体であること
 - ・ 学外者を含む活動(合同練習、練習試合等)、対面でのイベント、コンサートは対象外
- 学外活動
 - ・ 荒川キャンパスの学生登録団体であること
 - ・ 学外活動届を提出すること
 - ・ 詳細な条件は、以下の「2. 活動内容詳細 ②学外活動」参照

2. 活動内容詳細 ※前提として 1.再開条件を満たすことが条件

① 学内活動

活動時間：平日9:00～21:30/ 土日祝9:00～17:00

活動制限：各団体1日1施設

※2時間までの連続利用のみ(午前午後 1 時間ずつ等は不可)

対象施設：原則、団体登録時に登録した「主な活動場所」を利用してください。それ場所以外の施設を利用する場合は、学務課学生担当へご連絡ください。

② 学外活動

活動時間：日時は問わない

提出書類：学外活動届

「学外活動届」の様式(登録団体の代表者へメール送付又は荒川HPよりダウンロード)に必要事項を記入し、adm_gaku@tmu.ac.jp へ提出してください。

※毎回、事前に学務課学生担当へ申請し認可を受けること。

※活動内容・活動場所が同じの場合、複数の日付を1枚の活動届にまとめて記入。

※申請を受けてから認可まで、1週間程度審査期間がかかります。

■学外活動の再開条件

- ① 自分たちの団体のみで活動を行う場合
 - 本学 HP に掲載している「後期課外活動ガイドライン」及び活動施設の管理者等が定める各種ガイドラインを遵守し、感染症対策を徹底したうえで、活動を行う。
- ② 学外の団体等と共に活動を行う場合
 - すべての参加団体の同意を得るとともに、それぞれの団体が定める各種ガイドラインを遵守し、感染症対策を徹底したうえで、活動を行う。
- ③ 自団体メンバー以外の来場者が見込まれる活動を行う場合
 - あらかじめ来場者へ感染症対策を明示するとともに、「後期課外活動ガイドライン」及び活動施設の管理者等が定める各種ガイドラインを遵守し、感染症対策を徹底したうえで、活動を行う。

3. 活動記録

活動した場合は、「活動記録」の提出が必要です。これは皆さんの健康管理及び感染防止策等を記録するものです。学内・学外活動を問わず、全ての課外活動について、毎回、必ず参加者の代表1名が記録を残すようにしてください。入力に不備や虚偽がある場合、今後の活動が認められない場合がございますので、ご注意ください。

活動記録は、荒川 HP でダウンロードできますが、登録団体の代表者へメールにて様式を送付します。

4. 学内施設利用について

① 予約について

- ・ 予約は先着順となります。
- ・ 1団体で予約を占有することは避け、譲り合ってください。
- ・ 同一団体による長期間の連続予約が確認された場合は、予約の一部を許可しない可能性があります。ご了承ください。

② 利用当日のながれ

活動当日は、参加者全員が必ず検温し手指消毒を行うこと。発熱等症状がある場合は参加できません。

5. 感染防止対策

荒川 HP の「荒川キャンパス Ver. 後期課外活動ガイドライン(改訂版1:2020年10月7日)」の「4 感染防止対策」を遵守してください。

6. 感染の疑いがある場合

「息苦しい」「強いだるさ」「高熱」「発熱・咳」などの症状がある場合は、学務課教務係までご連絡ください。

7. 今後の課外活動について

課外活動の規制緩和について、内容が変更された場合、荒川 HP に掲載します。日頃より HP を確認してください。

最後に

複数の大学において、課外活動を起点とする新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しています。皆さんの活動においても、同様のリスクが発生する可能性が常にある、ことを理解してください。皆さん自身、またご家族や友人、大切な人の健康を守るためにも、感染防止策を徹底し、自覚ある行動をもって活動をお願いいたします。